

標準化会議事業報告

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づく積極的な規格原案作成活動を進めた。国内標準化活動では、JIS 2 規格の改正作業を行った。JSMA 規格も制定・改正作業を進め 4 規格を発行した。国際標準化活動では、第 16 回 ISO/TC227 ばね国際会議を Web 会議にて開催した。P メンバー 11 カ国中、9 カ国 31 名が参加した。「圧縮コイルばね試験法」は FDIS 投票へ進むことが承認された。また、「引張コイルばね試験法」は、2021 年 3 月末までに CD 投票に移行することが承認された。

2. 標準化会議の開催

会議	名称、日時	主な議案
第 1 回 標準化会議	2020 年 7 月 15 日 メール審議	1. 国内各規格開発 (JIS、JASO 及び JSMA) 活動内容審議 2. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議
第 2 回 標準化会議	2020 年 11 月 24 日 メール審議	1. 国内各規格開発 (JIS、JASO 及び JSMA) 活動内容審議 2. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議
第 3 回 標準化会議	2021 年 3 月 1 日 メール審議	1. 国内各規格開発 (JIS、JASO 及び JSMA) 活動内容審議 2. ISO/TC227 ばね活動報告及び審議 3. 今年度活動の総括と来年度活動計画審議

3. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

4 部編成からなる JIS B 2710 の規格群の内、JIS B 2710-1 「重ね板ばね第 1 部：用語」及び JIS B 2710-2 「重ね板ばね第 2 部：設計方法」は 2020 年 8 月 20 日に改正発行された。残りの JIS B 2710-3 「重ね板ばね第 3 部：測定及び試験方法」及び JIS B 2710-4 「重ね板ばね第 4 部：製品仕様」は改正原案作成を進め、2020 年 12 月に日本規格協会へ書類一式を提出した。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に参加した。今年度定期見直し対象 7 規格の内、ばね工業会に関係する 4 規格、F107 「自動車部品－ばね板ナット」及び F205 「自動車部品－配管・配線用クリップ」は、「確認」で維持継続となった。F109 「自動車部品－座金組込みボルト及び小ねじ」は来年度に改正計画を行い、F118 「自動車部品－座金組込み六角ナット」は、来年度に改正作業することが決定された。

③ JSMA 規格関係

今年度は以下に示す 4 規格の制定・改正原案作成作業を進めた。5 月に SB007 「冷間成形圧縮長円コイルばね」及び SD001 「ばねのショットピーニング」の 2 規格を改正発行した。また 1 月に SB009 「コイルドウェーブスプリング」及び SZ003 「ばね関連記号」の 2 規格を改正発行した。

(2) ISO 規格関係

① 第 16 回ミラノ国際会議 (Web 会議)

日本からは相羽委員会マネジャー以下 4 名が Web 形式にて出席した。9 月 16 日、17 日、18 日の 3 日間開催され、1 日目及び 2 日目はワーキンググループ会議、3 日目は本会議が行われた。

ドイツ提案の「圧縮コイルばね試験法」は、FDIS（最終国際規格案）投票へ向けてドラフト案の検討を実施し、FDIS 投票へ進むことを議決した。イタリア提案の「引張コイルばね試験法」は、次の規格段階である CD（委員会原案）段階に進み、イタリアから 2021 年 3 月末までに更新した原案を回付することを議決した。

次回の第 17 回国際会議は、9 月 30 日及び 10 月 1 日に米国のラスベガスで実施することを決議した。

この活動には、政府制度の国際標準開発事業のツールを活用し、経済産業省、株式会社三菱総合研究所の支援を頂きながら実施した。